

2018年11月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

Hokkaido Dental Association “Doushikai Tsushin” D.NEWS

十勝

TOKACHI

外来環・支援歯・か強診・院内感染防止対策の 各届出に係る研修会

日時：平成30年8月25日(土)

午後3時から午後4時30分

講師：川上智史 先生

(北海道医療大学歯学部

口腔機能修復・再建学系

高度先進保存学分野 教授)

場所：十歯会館 2F 講堂

4月の保険改定によって以前より複雑となった施設基準届出についての標記研修会が開催された。

講師として北海道医療大学の川上智史 教授をお招きして、限られた短い時間で全体を網羅した詳しい解説をしていただいた。土曜日の午後という日程にもかかわらず、釧歯会の先生方も含む多数の参加者があり、皆様にとって大変有意義な研修会となった。(南館直人 記)



道東三地区歯科医師会役員連絡協議会・ レクリエーション大会

日時：平成30年9月1日(土)・2日(日)

場所：ホテル黒部(北見市)

道東三地区歯科医師会の恒例行事である

標記連絡協議

会・懇親会・レ

クリエーション大

会が、今年度は

北歯会の主管で

行われた。道歯会

からは藤田会長、

西 副会長、大

西専務理事に出

席いただき、連絡

協議会では藤田会長による中央情勢報告の

後、協議事項として管内歯科技工士と歯科

医院の需給バランスの現状と課題について

各地区より報告があり、それに関連して活

発な議論が行われた。

引き続き行われた懇親会では北歯会の皆

様に接待いただき、美味しい料理とお酒で

他地区の先生方と楽しく交流を深めた。

翌日のレクリエーション大会では、野球

大会の他に今年は新企画としてカーリング

体験が行われ、平昌オリンピックで大活躍

したロコ・ソラーレの本橋麻里 選手に指導



を受けるという贅沢な時間を過ごしたようだ。

北歯会会長の金山先生をはじめ、役員・関係各位の先生方、今回は色々とお世話になりまして誠にありがとうございました。来年度は十歯会主管となりますので、北歯会・釧歯会の皆様方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

(南館直人 記)

第33回おびひろ健康まつり

日時：平成30年9月2日(日)

午前10時から午後12時

場所：帯広市保健福祉センター

毎年恒例の標記健康まつりが開催され、

帯広市医師会、北海道薬剤師会、十勝支部、看護師、栄養士、臨床検査技師をはじめ、多くの協力団体が一堂に会するお祭りであった。

例年どおり歯科部門は、2階多目的ホールにて午前中のみ参加であったが、200名以上の来場者があり、準備したお土産200個がなくなってしまうほどの大変盛況な催しだった。

歯科医師12名、歯科衛生士7名に協力いただき、口腔機能測定 (RSST・オーラル



ディアゴキネシス・口腔内乾燥・舌圧測定)・口腔機能向上のための、あいうべ体操・TBI・フッ化物洗口体験・歯科相談の各コーナーには、予定の人数を超えて来場いただいた。帯広市民の健康維持向上に少しは貢献できたのではないと思う。(大和田三朗 記)

保険講習会

日時：平成30年9月29日(土)

午後3時30分より

場所：十歯会館 2F 講堂

講師：田辺 隆 先生

(全国保険医団体連合会 副会長)

今年度の診療報酬改定から約半年経過したが、今回、全国保険医団体連合会副会長の田辺 隆 先生を再度お招きして保険講習会が開催された。

今改定は新設項目や届出医療、施設基準要件の変更も多く、難解なため、請求での疑問点や疑似解釈に対する不明な点などが多数出てきており、田辺先生にはこれらに関して詳しく解説いただいた。

また、増点にもつながる改定内容の理解が深まるお話もあり、今後に役立つ大変貴重な講習会となった。(南館直人 記)



留萌

RUMOI

社会保険講習会

日時：平成30年9月8日(土)

午後3時より

場所：るもい健康の駅

講師に、北海道保険医会より、芦田眞治

理事を招いて標記講習会が行われた。

医学管理料を算定する際の注意点とカル

テ記載の要点などを特に詳しく説明された。

また、外来後発医薬品使用体制加算はその届出方法が分かりにくい、実例を挙げて計算方法などを示された。

明日の診療からすぐに役立つ情報ばかりで、有意義な講習会であり、芦田先生の保

険に関する造詣の深さ

に感服する次第であっ

た。

講習会の後も、会員からの質問が絶えず、盛況のうちに会を終了した。(江畑育太郎 記)



稚内

WAKKANAI

第2回 理事会

日時：平成30年9月29日(土)

午後4時より

場所：稚内総合文化センター

標記理事会が開催され、出席理事8／10名、監事2／2名で会議は成立された。最初に藤野会長より「停電がありましたが、皆さ



んな大丈夫だったでしょうか？秋も深まり、行事が立て込んできますが、よろしくご審議お願いいたします」と挨拶があった。

議決事項として今年度の日程の変更および

各理事より報告があり、議決された。協議事項として10月20日に行われる道北地区の役員協議会において、道歯会に向けた要望などについて検討協議された。最後に10月いっぱい退職される南波先生による挨拶で、会は無事終了した。(三浦佐和子 記)

旭川

ASAHIKAWA

旭川警察歯科協力医会研修会

日時：平成30年9月8日(土)

午後4時より

場所：旭歯会館

標記研修会が開催され、講師に奥羽大学歯学部 生体構造学講座法歯学教授の花岡洋一 先生をお招きし、「警察歯科医の新たな役割ー子ども虐待の根絶を目指してー」と題して講演いただいた。歯科関係者は25名、旭川警察関係者は30名の参加者があった。

花岡先生は平成26年に東京歯科大学から「法歯学」の専任教授として奥羽大学歯学部生体構造学講座へ就任された。法歯学分野の専任教授就任は、東北・北海道地方では初めてで全国でも5人目となる。

講演では、もし私たちが「これって虐待かも…」と思った時に児童相談所に通告することを強調され、通告をためらった中に本当の虐待があることがもっと恐いことを皆さん知ってほしいと大変ショッキングなスライドを交えて熱くそして力強くお話ししていた。今までに起きた虐待事件、そして今年東京都目黒区で起きた幼児虐待死亡事件にも触れ、「子ども虐待において最も多い事例はやはり身体的虐待であり、口腔領域における外傷が虐待によるものか否

かを判断する大きな武器が法歯学です。そして、その法歯学の知識を有する歯科医師こそ警察歯科医であり、その知識を活用して保護者による虐待の芽を摘むことこそ、これからの警察歯科医に課せられた新たな役割であろう。全国の警察が平成30年上半期に、虐待を受けた恐れがあるとして児童相談所に通告した18歳未満の子どもは、前年同期比42.3%増の24,511人と過去最多となった。では何故警察は児童相談所に通告しなければならないのか。それは警察が虐待に関しては一切の捜査権を有していないからである。では子ども虐待に対する警察の役割とはなにか？警察との強固な協力関係を構築している警察歯科医にとって、警察の立場を十分に理解しておくこともま

た重要なことであろうと思う」と強く訴えていた。

科学的根拠に基づく個人識別法として指紋、DNA、歯科的所見が挙げられ、我々歯科医療従事者も必ずかかわってくる。警察および警察協力歯科医は、今までの平時の身元確認や大規模災害での作業に加え、児童虐待の早期発見に係る責務も果たす必要がある。一日も早くご遺族のもとへお返しするべく早急な対応に努めるため、そして虐待の芽を早い時点で摘み虐待事件を根絶するためにも皆様に警察歯科協力医登録および歯牙鑑定医登録にぜひご協力を、そして歯科的個人識別法の質の向上に努力していただくようお願いします。(森田琢博 記)

登録はお済みですか？

『Do歯メール配信』\\ 会員募集中 //

『Do歯メールマガジン』に登録はお済みですか？現在の登録者数は1,100名を超えており、無料で登録ができます。

会員の皆様に今すぐ知っていただきたい、速報ニュースを配信することもありますので、ぜひ登録を!! また、カラー写真やカラー文字を取れ入れて、見やすくポップに作成することを心掛けて配信しています。

なお、登録の際は、① 所属郡市区歯会 ② 氏名(ふりがな) ③ 生年月日 ④ 開業医院名または勤務先 ⑤ TEL ⑥ FAX ⑦ Eメールアドレスを下記問い合わせ先にFAXまたはE-mailでお申込みください。

毎月下旬に発行

・日常の臨床に役立つ情報
・道歯各会議の報告

号外も発行

・道歯主催の研修会告知
・お楽しみ情報
・緊急性を要するニュース

バックナンバー発行

・道歯 会員ホームページ (<http://doushi.net/member/>) にアクセスし、指定のIDとパスワードでログインすると、『Do歯メール配信』のバックナンバーをみるることができます。

【お問合せ・連絡先】

北海道歯科医師会 事務局 広報担当
TEL 011-231-0945 FAX 011-271-7514
E-mail d-haisin@doushi.net

札幌

SAPPORO

西・手稲支部合同学術講演会(大規模)
日時：平成30年9月1日(土)
午後3時より
場所：札幌会館 大講堂

北見

KITAMI

木曜倶楽部
日時：平成30年9月27日(木)
午後7時30分より
場所：北歯会館

北見工業大学
地球環境工学科
先端材料物質工
学コース 教授
大津直史 先生を
お招きし「生体材料研究者から見た金属
インプラント研究の動向」について講演
いただいた。

金属の生体材料とは何か、生体材料研
究者は今何を研究しているのか、北見工
業大学医療材料研究室の取り組みについ
て分かりやすくお話してくださり、今
後どのように変化していくのか、理解す
ることができた。

ここ10年間で「材料学者」と「医歯学
者」が一緒に研究する機会が急激に増え、
お互いの領域に関する知識と技術の相互

「フレイルの基礎知識と歯科の対応」～
摂食嚥下障害への理解と対応～という演
題にて、松本歯科大学 地域連携歯科学講
座 教授の小笠原 正 先生に講演いただき、
歯科医師65名、歯科衛生士12名の出席が
あった。
食・口腔機能は、身体活動や社会活動
のための栄養摂取の源として不可欠で、
オーラルフレイル（口腔機能の軽微な低

交換が急速に進み、医工連携の発展につ
ながっている。このことにより患者の病
状や体質に合わせたテーラーメイド生体
材料の創製に期待できるようになりつつ
あるそうだ。(丸子修史 記)

医療管理講習会
日時：平成30年9月29日(土)
午後3時より
場所：北歯会館
医療管理事業の講習会が上記日程で行
われた。

テーマは、「働き方改革」～高まる労務
リスク～と題し、社会保険労務士法人 日
本経営労務の藤井健介 先生・津幡美紀 先
生をお招きし、従業員との雇用関係等の
講演をしていただいた。

はじめに、労
災関係の事例を
紹介しつつ、国
の労災保険だけ
では不十分な事
例を紹介された。
労基署による監
督で違反が一番
多いのは労働時
間で、従業員10

下や食の偏り）
の予防・改善が
重要であること、
そして歯科医師
としてできるこ
とは、口腔環境の整備と口腔機能の維持
であることを、動画を交えてわかりやす
く解説された。
また、受講者全員がプリン、せんべい、

人以下の場合は週44時間までのようであ
る。労働安全では、過酷な残業・職場の
いじめやパワハラでの自殺した事例を示し、
常に職場環境を把握し是正していかないと
高額な慰謝料が請求されるとのことだっ
た。年次有給休暇5日取得が義務化され
るようで、少人数でむずかしい場合には、
休祭日等の利用も検討すると良いそうだ。
従業員を雇用する時には、書面による雇
用契約書を交わし就業規則を示すことが
後々のトラブル防止に役立つそうだ。

労働監査コンサルや組織力診断を行い、
労働環境改善をしていかないと、従業員
から訴えられる時代。今までほとんど考
えたことのない内容だったが、自院のた
め・従業員のためにも改善していかなく
てはならないと考えさせられる講演だった。
(藤井 大 記)

第27回 北見市健康まつり
日時：平成30年9月30日(日)
午前11時30分から午後2時30分
場所：北見市民会館

第27回 北見市健康まつりが行われ、各
コーナーでは、健康に関する相談や、実
際に体験できるコーナーがあり、歯科では、
歯科医師による口腔内健診を行い、歯科

水を飲食し、食
形態によって食
べる時の舌、口
角、顎の動きの
違いを観察する
実習を行い、普
段意識しないこ
とを学ぶこと
もでき、とても
有意義な講演会
だった。
(鈴木敏人 記)

衛生士と共に
お口の中の悩
み相談を受け、
正しい口腔ケ
アの方法など
のアドバ
イスが行われ
た。
また、新鮮な
野菜やパンも
購入するこ
とができ、学
校法人栗
原学園進化
塾ダンスス
テージなど
も披露され
た。

大ホールでは、午前10時から、こころ
の健康づくり講演会「～命を支えるとい
うこと～"がんばらない"けど"あきらめ
ない"」と題し、諏訪中央病院 名誉院長
鎌田 實 先生をお招きして講演会が行
われた。人生100年時代をどう生きるか、
そのために我々の仕事にも関する口腔フ
レイルの大切さについてお話しされてい
たことが印象的だった。

その後、高齢者の歯のコンクール表彰
式も行われ、7名の方が表彰された。当
日は、たくさんの市民に來場いただき盛
況のうちに終わることができた。
(丸子修史 記)

美唄

BIBAI

平成30年度美唄歯科医師会学術講演会開催
日時：平成30年9月5日(水)
午後6時30分より
場所：美唄ホテルスエヒロ

標記講演会が開催された。講師は北海
道大学大学院 歯学研究 口腔機能学
分野 冠橋義歯
補綴学教室 教
授の山口泰彦 先
生に顎関節症に
ついてというこ
とで、顎関節症の診断・治療のポ
イントについて顎関節症の概念・分
類からはじまり、開口障害の種類や
特徴、治療法について懇切丁寧な
講演いただいた。
近年では顎関節症に対して外科処置が

少なくなっていることや、
スプリントの調整の注意点
やクリックからロックへの
移行の予防が大事であるこ
となど、現在のトレンドの
話もあり、今後の日常の臨床で役
立てようと思った。講演会には
近隣の歯科医師会の先生も参
加していただき、大変有意義な
講演会であった。

終了後には、山口先生を囲みながらの
懇親会が開催され、和やかに行
われた。台風21号の影響で札幌、
旭川間の特急が止まっていたに
関わらず、講演会を開催して
いただきありがとうございました。
(川上譲治 記)

道歯会BLS&DCLSコース(美唄)
日時：平成30年9月29日(土)
午後2時から午後5時30分
場所：美唄市総合福祉センター
ぼぶら 抜けるような青空の
屋下がりに標記講習会が行
われた。

釧路

KUSHIRO

道東三地区歯科医師会役員連絡協議会・
懇親会(北見)
日時：平成30年9月1日(土)
午後4時より
場所：ホテル黒部

標記連絡協議会が開催され、道
歯会をはじめ釧路、十勝、北
見地区より各歯科医師会役員
が47名集まった。開催地の金
山 北歯会長の挨拶の後、藤
田 道歯会長より中央情勢報
告があり、医療保険制度に関
する論点で「医療費の動向等
に応じて給付率を調整する考
え方」に関してはこれから注
目していく必要があるとい
うとお話していた。
協議事項として
(1) 管内歯科技工士と
歯科医院の需給バランスの
現状と課題について
(2) むし歯予防デーなど
公衆衛生活動

の具体的な取り組み
のテーマで3地区より報告
がなされた。
釧路地区より(1)に
関して石本大輔 医療管理
担当理事が事前に行われた
歯科医院を対象にした
歯科技工に関するアン
ケートについて報告し
た。その後、質疑応
答に入り三地区より
活発な意見交換があ
り非常に有意義な会
合となった。
引き続き懇親会が
開催され、乾杯の
挨拶を中谷洋司 会
長が行い、ビンゴ
ゲームで一喜一憂
し、楽しい懇親会
を過ごした。万歳
三唱を次期開催
地の大滝 十歯
会長が務め、閉
会した。(栗野俊
哉 記)



道東三歯会(北見)レクリエーション大会
日時：平成30年9月2日(日)
[野球大会] 場所：北見市端野野球場
対 北見戦では全国大会に出場する釧
路

本コースは歯科救急危機 (DC：Dental
Crisis) に対する一時救命処置のシミュ
レーションである。参加者は24
名。8名のインストラクターのもと、
それぞれグループに分かれて講習は
進められた。

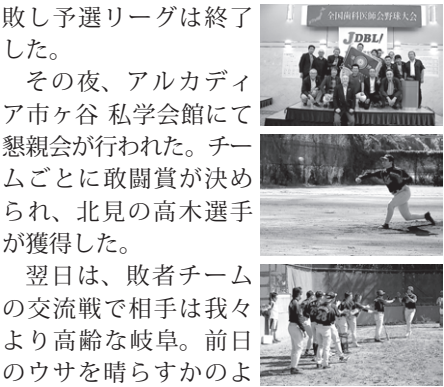
道歯会 小谷常務理事の司会で講習は
進化した。医療法人回生会 大西病
院 歯科口腔外科部長 鳥谷部純行 先生
より(1)「デンタル・クライシスの
初期対応」、医療法人社団 悠仁会
羊ヶ丘病院 副院長 中山雅康 先生
より(2)「心肺蘇生法」についての
講義があり、その後各グループにて
胸骨圧迫、人工呼吸とAEDを用いた
除細動の実習を行なった。
休憩後に中山先生より(3)「窒息の
解除」の講義後、インストラクター
総出演にてAEDと窒息シナリオの
デモンストレーション(個人的に
講習の中で一番忘れられません。
最高でした…)が行われた後、「窒
息の解除」の実習、残りは終了時
間まで

さまざまなシチュエーションのシナ
リオでのチーム蘇生の実習に各々
に汗を流しながら取り組んだ。
今回は2015年のガイドラインにて
変更された点の補足解説もあり、特
に歯科ユニット上での心肺蘇生の
方法、人工呼吸無しでの心肺蘇生
の有効性の解説などは知識のア
ップデートとなった。
グループ実習の内容も充実しており、
参加者同士ではチーム蘇生での
お互いの役割分担を確認し合い、
インストラクターとは双方向に
疑問や意見交換を行うことができ
て有意義な講習になった。
また、今回は歯科助手の参加も
多数あり、前回より一層、診療
所単位での実践的トレーニング
になったと思われる。今後は
鳥谷部先生のお話にあった救命
救急の3つの連鎖を念頭に置き、
さらに研鑽を積んでいきたい
と思う。
最後に参加者を代表して柴多
先生が修了書を授与され終了
した。(滑川貴彦 記)

野球部に試練を与えていただいた。
先発 伊勢 明 投手が奮闘するも
負けであった。対 十勝戦では、
全国大会出場の際に協力して
いただける北見の中村良治 投
手と高木常臣 野手が参加して
いただき勝利を収めることが
でき、釧路野球部は準優勝
であった。優秀選手賞に伊勢
選手、好プレー賞に上島選手、
珍プレー賞に山須田選手が
受賞した。
[カーリング体験教室]
場所：アドヴィックス常呂
カーリングホール
今年度初めて行われたカー
リング。ロコ・ソラーレ北
見で有名な本橋麻里さんに
コーチをしていただく贅
沢な時間をすごすことが
できた。初めて行うカー
リングに皆、四苦八苦
していた。(栗野俊哉 記)

第7回全国歯科医師野球大会
日時：平成30年10月7日(日)、8日(月・祝)
場所：都立大井の頭中央海浜公園野球場
北歯会よりエース中村良治 先生、
名選手高木常臣 先生をお
借りし、標記大会に出
場した。
台風25号の影響で当日の
気温は30℃を超え、
釧路の人間はまず暑さ
との戦いで

あった。初戦は新潟戦、初
回2点をうばわれるも追いつ
き、6回には4番大久保選
手の柵越えのホームランで
逆転。しかし最終回エース
の上島投手も力尽きサヨ
ナラ負け。2試合目の相手
は長崎。1点は先制したが、
先発中村投手が3回につ
かまり4失点。その後も
相手打線の勢いを止められ
ず終わってみれば16失点
で大敗し予選リーグは終
了した。
その夜、アルカディア市
ヶ谷 私学会館にて懇親会
が行われた。チームごと
に敢闘賞が決められ、北
見の高木選手が獲得した。
翌日は、敗者チームの
交流戦で相手は我々より
高齢な岐阜。前日のウ
サを晴らすかのよう
に打線が爆発。大量18
点を奪い、投げたは中
村選手が1失点で7回
完投、心地よい勝利
であった。今大会出
場は我々釧路歯会
創立70周年にも花
を添えることも
でき、いい経験
であった。(佐藤
宏幸 記)



小樽

OTARU

小樽後志交流ゴルフ会
日時：平成30年9月24日(月・振)
午前8時より
場所：小樽カントリー倶楽部 旧コース
後歯会より練合先生、土方先生、中川先生、中村先生、長澤先生の5名をお迎えし、小樽からは千葉 亘先生、高橋先生、谷向先生と兵藤の4名が参加して総勢9名で開かれた。
9月下旬にしては暖かく風もない絶好のコンディションの中、



千歳

CHITOSE

平成30年度 千歳歯科医師会主催 ゴルフコンペ
日時：平成30年9月2日(日)
午後12時30分より
場所：札幌国際カントリークラブ 島松コース
標記ゴルフコンペが開催された。
札幌国際カントリークラブ（通称島松）はLPGA ツアーの北海道 meiji カップが毎年開催される日本でもとても有名なコースである。
また、このコースにおけるメンバーの歯科医師の割合がとても多いため、貴重な情報交換の場となっている。そんなことから、参加者の利便性も加味し、今年度も島松で開催することとなった。

当日は、参加者の皆様の日頃の行いのせいか、1年に数回あるかどうかのゴルフ日和。今年度は11名の参加で、競技方式はダブルペリア（隠しホールによりハンディキャップを算出する方式のためだれにでも入賞のチャンスがある）でした。



その他、アトラクションとしてニアピン賞、ドラコン賞、ベストグロス賞を設け、その他1位と2位の枠を予想するダービーゲームも行った。

全員楽しくゴルフをすることができた。（一部二日酔いで体調不良の先生もいたが）
競技はWペリア、打数の上限なしで行われ、優勝は高橋先生ネット70.2、準優勝谷向先生ネット73.6、3位中村先生ネット76.0、4位長澤先生ネット76.2、となった。
ベストグロ賞は高橋先生が、谷向先生と長澤先生はドラコン賞とニアピン賞の両賞を獲得された。
ゴルフ終了後、ジンギスカン鍋を皆で囲み、来年後志での再会を約束してお開きとなった。（兵藤博昭 記）
後志いきいき健康まつり
日時：平成30年9月30日(日)
午前10時より
場所：ウイングベイ小樽 5番街 1階 ネイチャーチャンパー

競技終了後、コンペルームにて冷たい飲み物でクールダウンしながら表彰式を行い、ニアピン賞は清水先生・宮口先生、ドラコン賞は鈴木先生、ベストグロス賞は小西だった。ダービーは鈴木先生、木村先生、佐々木先生に分配された。
来年度もより多くの先生方のご参加お待ちしております。（小西美貝 記）
千歳歯科医師会ゴルフコンペ 順位表

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1	小西美貝	80	7.2	72.8
2	村上忠功	88	13.2	74.8
3	鈴木 毅	99	24	75
4	渡辺一史	91	15.6	75.4
5	大谷恵一	97	21.6	75.4
6	植竹雅美	101	25.2	75.8
7	木村朋義	98	20.4	77.6
8	高津良二	88	9.6	78.4
9	清水将樹	111	32.4	78.6
10	宮口倫一	122	40.8	81.2
11	佐々木敏博	109	18	91

千歯会主催医療管理講習会
日時：平成30年9月14日(金)
午後7時より
場所：エニケンビル 3階 会議室



標記講習会が開催された。講師には北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 顎顔面口腔外科学分野の永易裕樹 教授をお迎えして、「日常臨床において遭遇しやすい偶発症への対応」と題して講演いただいた。

小樽は晴天に恵まれたものの、台風24号が猛威を振るいながら北上してきたこの日、標記イベントが行われた。このイベントは後志地域リハビリテーション広域支援センターが主催している。今年は13団体が参加し、各ブースで介護予防や健康に関する情報提供や啓発活動が行われた。
理学療法士会は体力測定・骨密度測定、作業療法士会は転倒予防クイズ、言語聴覚士会は飲み込み力の測定など、それぞれの団体が得意分野に工夫を凝らして来場者の関心を呼んでいた。イベントに並行して、介護予防体操体験会が中央ステージで行われた。また、参加各団体活動内容の紹介も行われた。特に北海道歯科衛生士会小樽支部は「線路は続くよどこまでも」のリズムに合わせて、パタカラ体

内容は、
1. 血管迷走神経反射
2. 過換気症候群
3. アレルギーと歯科治療
・アナフィラキシー発症時の対応
・ラテックスアレルギー患者の対応
4. アスピリン喘息患者の歯科治療時の注意点
5. 気道閉塞を誘発する偶発事故とその対応-誤飲、誤嚥、気腫発生時の対応
6. 感染性心内膜炎と歯科治療
以上の6つの項目に分けて、講演いただいた。
講習会にはたくさんの会員が参加され、関心の高さがうかがわれた。（平山 健 記）

恵庭医師会主催 地域医科・歯科連携講演会
日時：平成30年8月29日(水)
午後7時より
場所：えにわステーションホテル
演題：「骨吸収抑制関連顎骨壊死への地域医科・歯科連携について」
講師：北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科教室 准教授 高畑雅彦 先生
昨年の11月に北広島市を皮切りに、千歳市そして今回恵庭市での開催となった。医師、看護師の参加も多く、当会からも恵庭地区の会員のみならず、他の地区からの参加も多数あり、会場はほぼ満員の状態であった。
薬の特性について歯科との関連を特に考慮した、とても丁寧な説明をしていた

操を披露。介護予防体操に負けないほど会場を盛り上げていた。
本会は歯科健診・相談と口臭測定を行なった。今年の来場者は320名ほどであったが、本会ブースには111名の方に来場いただいた。例年口臭測定は人気が高く、今年は89名が訪れた。
北海道胆振東部地震や台風24号接近の影響により、昨年よりも来場者数は少なかったが、余裕を持って各ブースを回ってもらえたと思われる。このイベントが介護予防や健康に興味を持ってもらえるきっかけになってくれることを願ってやまない。（野 隆弘 記）



だった。
これまでは開業医の立場からの説明として、骨折のリスクが高まるため「できるだけ休ませずに」と言う説明が主であったが、今回の大学の先生の立場からの講演では「休薬」については必要があれば休薬して観血処置を行なっても、さほど骨折のリスクが高まることはないのではとの見解だった。
その理由として経口剤は骨への残留期間が長いため、骨折のリスクが急に上昇するというのではないのではないか、また「休薬」しても同様の理由から2～3か月の休薬程度では顎骨壊死のリスクに大差はないのではないかとのことだった。
ただし、4年以上骨吸収抑制剤の服用、ステロイド剤の服用、血管新生阻害剤の服用など、リスクファクターが多数ある場合、休薬した方が良いのではないかとのこと、そして少しでも顎骨壊死のリスクを小さくするためには抗菌剤の術前投与と創部の緊密縫合が必要とのことだった。
開業医の先生の休薬をして骨折のリスクが高まるとの見解に対しては、休薬することで、そのまま薬の服用を中止してしまうケースがかなりの確率であることにより、骨折のリスクを高める結果となっているのではないかとのことだった。
この件については拔牙窩治療後にすみやかに薬の服用を再開していただけるよう歯科医の協力が欠かせないとのことだった。
開業医の先生、大学の先生と双方の見解を聞くことができ、とても興味深い講演を聞く機会を作っていたいた医師会の先生方に感謝申し上げます。（高津良二 記）

室蘭

MURORAN

「いい歯の日」8020表彰に関する打ち合わせ
日時：平成30年9月19日(水)
午後7時より
場所：伊達市保健センター
11月4日（日）伊達市保健センターにて催される「いい歯の日」8020表彰に関する打合せが行われた。室蘭から塚田副会長、藤井公衆衛生部長が、胆振西部地区運営協議会から石川幹事長、中村副幹事長、黒田総務幹事が出席した。また、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町の自治体からも担当者が出席した。
塚田副会長の挨拶、出席者の自己紹介の後、藤井部長より事業概要と実施要領が説明された。また、当日のタイムスケジュールに沿って動きが確認された。各自自治体の担当者から活発な意見がだされていた。
今年度も8020表彰のみの開催となるが、8020表彰の被表彰者



の掘り起こしは、毎年難しいところがあり、各自自治体も苦慮しているところであるが、胆振西部地区の歯科医院や各自自治体の保健センターでの啓発活動、何かのイベントの折に声掛けをしてもらうなど、室歯会と各自自治体と協力し、この事業を進めていかなければならないことを確認した。（畠山雄一 記）
平成30年度 口腔がん検診に係る事前研修会
日時：平成30年9月22日(土)
午後2時30分より
場所：室歯会館 斎藤記念講堂



10月20日、27日の2日間、室歯会管内4会場（室蘭・登別・伊達・洞爺）にて行われる口腔がん検診に参加する検診協力医に対する事前研修会が開催された。
[研修会①]
見逃してはいけない口腔がん ー口腔がんを発見するための診察・診断方法ー
講師 奥村一彦 先生（北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系組織再建口腔外科学分野 教授）
[研修会②]
口腔がん検診のすすめ方と手技
講師 水野貴行 先生（日鋼記念病院口腔

外科 科長）
新田専務の開会、仲川会長より挨拶があった後、工藤学術部長から2名の先生方の講師略歴紹介があった。
研修会①では、奥村先生から口腔がんにおける総論的な内容で、口腔がんの疫学、臨床的特徴、検査・診断、治療に関わる話を分かりやすく解説していただいた。また、注意が必要な粘膜疾患や口腔内によく見られる良性腫瘍についても解説していただいた。口腔がんの大多数は臨床医によって発見されることが多いという点、いろいろな粘膜病変における診査・診断および経過観察について、多くの症例写真を用いて詳しく講義していただいた。
研修会②では、水野先生から、実際に口腔がん検診を行う手順、方法を詳しく講義していただいた。各部位ごとの触診方法や、実際の検診に使用される検診表の記入方法や検診時の注意事項について話があった。検診協力医の先生方にはグループに分かれていただき、実際の検



診の流れに沿ってお互いに検診をしていただいた。検診協力医はこの事前研修を必ず受講することとなっており、検診当日は検診医のもと実際に触診や粘膜の観察なども行うことがあり、参加した先生方は検診実施に向け、大いに理解を深めていた。（畠山雄一 記）
北海道胆振東部地震
9月6日、北海道胆振地方中東部を震源とする地震でお亡くなりになられた方々に心よりご冥福をお祈りいたします。また、現在も避難生活を余儀なくされている方、休診している会員の先生には心よりお見舞い申し上げます。
室歯管内でも震度5弱を記録し、停電により各診療所は1～2日の休診を余儀なくされた。停電解消後、すぐにアンケートをとったが幸いにも大きな被害は報告されず、停電による被害だけであった。
しかし、室歯会館は斎藤記念講堂の天井と壁が少しではあるがズレ、隙間が空くという被害があった。また、予定されていた学術部の「臨床アップセミナー」が延期となり少なからず影響を受けた。今年は台風や地震といった災害が起きているが、日頃からの備えが重要だということを実感した。（畠山雄一 記）

後志

SHIRIBESHI

平成30年度 第三回 定例理事会
日時：平成30年8月30日(木)
午後7時30分から午後8時35分
場所：倶知安町 ホテル第一会館



各理事からの報告の後、今後の日程についての確認がなされた。

(五十嵐 豊 記)

第5回 後志デンタルゴルフコンペ
日時：平成30年9月1日(土)
場所：HANAZONO GOLF
出席者：練合・柏谷・土方・原・佐藤・長澤・中村直・中川・岡崎

今回の幹事N川は考えた。前回は鬼(H方)、前々回は小鬼(N澤)に捻られた。ここは安全策でいくべきか?!一組3名、



3組、組み合わせは幹事の一存である。え〜い、ここまできて、大鬼(N合)に挑まねば男が廢る。よろしくO崎選手(オカチャン)!!

8月31日(金)午後6時コンペ前日、O崎選手より電話、「本日ギックリ腰再発にて明日はDS」ごめんなさい...と。`オカチャン腰弱いのよね〜`前回、前々回と2人で苦杯を舐めてきた。相棒の不参加...まあ、仕方なし...両肩の力を抜き、改めて組み合わせを考える。幸い明日は降水確率0%!コース内カート乗り入れOK!!よし、当会の重鎮、K谷選手と楽しく回りましょうと。

一組目、N合、N澤、N川、K谷、いざスタート!!1H、グリーン上N3名よそ見をしているうちにK谷選手、一番遠くから1パットコロン!“金”3名ハアア???そこから本日のK谷選手、パットが入る入る。そうこうしているうちに、18H、ま

たもコロン!丸い顔でいつもニコニコK谷選手、実はエンマ大王様でありました!いつ以来でありましょう・・・K谷選手、優勝おめでとうございます。

(中川 徹 記)

		OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優勝	柏谷良雄	51	56	107	33	74
準優勝	長澤 稔	45	44	89	13	76
1位	佐藤智賀志	51	50	101	20	81
2位	練合哲哉	47	43	90	9	81
3位	中川 徹	52	50	102	20	82
4位	土方敬久	45	42	87	4	83
5位	原 公一	49	49	98	12	86
B B	中村直喜	66	60	126	26	100
B M	岡崎有志	DS				

小樽・後志対抗ゴルフ
日時：平成30年9月24日(月・振)
午前7時30分から午後2時

場所：小樽カントリー倶楽部 旧コース
出席者：練合哲哉、中川 徹、土方敬久、中村直喜、長澤 稔

毎年恒例の小樽・後志対抗ゴルフが、今年は北海道最古のコースと言われる名



門小樽カントリー倶楽部 旧コースにて開催された。予定が重なり、後志5人、小樽4人と少人数とはなったが、リンクス特有の海風に苦しみながらも熱いバトルが繰り広げられた。後志はWペリアのはまった中村先生の3位と、長澤の4位+ドラコン2つのみの景品ゲットと小樽に完敗となった。来年は後志が主管となり、是非多数の参加でリベンジしたい。

(長澤 稔 記)

成績は以下のとおり。

		OUT	IN	TOTAL	HC	NET
優勝	高橋一秋	42	39	81	10.8	70.2
準優勝	谷向利紹	43	39	82	8.4	73.6
3位	中村直喜	57	61	118	42	76
4位	長澤 稔	44	43	87	10.8	76.2
5位	練合哲哉	41	44	85	8.4	76.6
6位	兵藤博昭	52	49	101	24	77
7位	土方敬久	39	43	82	4.8	77.2
B B	千葉 亘	45	49	94	13.2	80.8
B M	中川 徹	51	50	101	16.8	84.2

空知

SORACHI

第二回学術講演会
日時：平成30年9月21日(金)
午後7時より
場所：滝川ホテル三浦華園 ライラック

講師に、北大大学院歯学研究院 口腔健康科学講座 歯周・歯内療法学教室准教授 菅谷 勉 先生をお招きして、「まだ諦めな



い歯周治療と根管治療」と題して行われた。

高齢化によりTB Iの難しい患者さんに対し、最新の洗口剤を使ったブラークコントロールや口腔内環境の維持法等、明日からすぐにでもできる方法を教示いただいた。エンド分野でも難症例と思われるケースでの見落としがちなポイントやスーパーボンドを併用して歯根破折を防ぐ方法等について分かりやすく

説明していただき、正に諦めが夢と希望に変わる大変有意義な講習会となった。

(北島雅夫 記)

社会保険講習会
日時：平成30年9月28日(金)
午後7時から午後9時

場所：滝川ホテル三浦華園
講師：北海道歯科医師会 中川英俊 常務理事
去る8月に各会員に送付された『保険診療の手引』も例年より50ページの増ページとなる内容となった。3日後の10月1日からは、初診料、再診料が、院内



感染防止対策に係る体制整備の施設基準により2本立てになる。年々、施設基準

が増えることで、それに関連した管理料、指導料の算定方法も複雑になってきている。2時間にわたり、各項目の算定に際しての注意点等、事細かく説明があったが、複雑な内容をよく理解して、増点が図れるように、もう一度見直す必要がありそうである。

(齋藤宗良 記)

函館

HAKODATE

施設基準届出研修会
日時：平成30年9月1日(土)
午後3時より
場所：函歯会館 2F 第一講堂

講師に日本歯科大学 新潟生命歯学部・歯学部長 藤井一維 先生をお招きして標記研修会が開催された。

『初診料注1』『外来環1・2』『か強診』『歯援診1・2』の4項目について講演され、『初診料注1』では院内感染対策は病原体の除去、感染経路の遮断について歯科医院のスタッフ全員が正しい知識を持つこと、対応を全員が確実に行うことが大事である。

『外来環1・2』ではバイタルサインの各項目についてとパルスオキシメーターの使用法とその評価の仕方。

『か強診』では初期エナメル質う蝕について、その診断基準とフッ化物を用いた処置方法。また、歯周病の重症化予防と

継続管理・歯周病安定期治療の考え方について説明された。

『歯援診1・2』では高齢者の全身管理について、認知症・アルツハイマー型認知症の出現する症状とその際の対応について説明された。

質疑応答を含め約3時間の研修会であったが、参加者はメモをとりながら熱心に聞いていた。

この研修会の内容を日々の診療に反映させていき、患者からの信頼を得ることで『かかりつけ歯科医』として地域に密

着していくことを確信した。

(川村曜補 記)



苫小牧

TOMAKOMAI

健康フェスタとまこまい・8020表彰式 全体説明会
日時：平成30年9月19日(水)
午後7時30分より
場所：苫小牧市民会館 206号室



苫小牧市主催の健康に関するイベント「健康フェスタとまこまい2018」が今年も開催される。今年は同日に「8020表彰式」を開催することとしていたが、先日

発生した北海道胆振東部地震の被災地支援事業と重なってしまい、昨年よりも少ない人員で規模を縮小して行うこととなった。昨年同様、多くの市民の参加が見込まれるため、設営、役割等について担当理事より説明を行なった。(関 俊也 記)

8020表彰式
日時：平成30年9月23日(日・祝日)
午前9時より

場所：苫小牧市民活動センター 1階 多目的ホール

徐々に涼しくなっているとはいえ、日差しのもとではまだまだ汗ばむような晴天のもと、標記表彰式が開催された。



例年だと11月に執り行われていたのだが、昨年より「いい歯の日」にちなんだイベントが9月に開催されるように変更されたため、8020表彰式も今年は9月に開催することとなった。

80歳以上で20本以上自分の歯を保有している方のうち、以前にこの表彰を受けたことがない方が対象となっており、今年は83名が表彰対象となった。そのうち、27名が会場である市民活動センターで苫小牧保健所所長、苫小牧市長、北海道歯科衛生士会苫小牧支部長、苫小牧歯科技工士会長が列席された中、牛丸苫歯会長より一人ひとりに表彰状の授与された。

(関 俊也 記)

第15回苫歯会臨時総会
日時：平成30年9月28日(金)
午後7時30分より
場所：苫小牧市医師会館 3階講堂



10月13日(土)に苫歯会創立70周年の記念事業が予定されていたが、9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震を考慮して、記念事業の中止が決定された。そこで、記念事業に当てられていた予算を、被災した苫歯会会員への見舞金として利用することは是非を検討すべく、標記臨時総会が開催された。

出席会員、委任状による出席会員により今回の予算の一部を被災会員への見舞金として利用することが可決され、今後は被災状況の大小に応じて分配されることとなった。被災された会員においてはまだまだ大変なことと思われるが、一日も早い復興を願っている。(関 俊也 記)

岩見沢

IWAMIZAWA

新入会員オリエンテーション
日時：平成30年9月4日(火)
午後7時30分より
場所：岩歯事務所

今年の春に入会された田村 直 先生(たむら歯科クリニック)に対するオリエンテーションが開催された。

倉増会長から「早く会に慣れ、多くの

行事に積極的に参加していただきたい、そして先生のご活躍を期待する」との挨拶があった。

久恒専務理事より三役をはじめ、出席者の紹介、岩歯の機構、情報伝達方法や各種共済制度等の解説があり、その後、各部担当理事より各部の事業内容の説明がなされた。

公衆衛生部担当の樋浦理事と広報部の私は「ネット会議」の状況を見ていただ



きたくネットにて参加した。

(木村 悟 記)

第33回いわみざわ健康まつり
日時：平成30年9月30日(日)
午前10時より

場所：駅東市民広場「イベントホール 赤れんが」

岩見沢駅東側の「イベントホール赤れんが」で多くの市民を集め、標記イベントが開催された。

その一角に「第12回8020歯っぴースマイル」の会場を設け、歯科衛生士会と歯科技工士会と共に8020歯っぴースマイ



ル体験コーナーや無料健診コーナー、無料義歯洗浄コーナーなどを開設。今回はステージイベントとして、「口腔がんについて」のミニ講演会と口腔体操も

ステージ上で行い、大変好評だった。また「いつまでも健康な歯を」というキャッチフレーズで先に執り行われた「8020コンクール」と「歯・口に関する図画ポスターコンクール」の表彰式も行われた。

(本間啓史 記)